

FULL HEIGHT DOOR®

INSET MODE

インセット枠

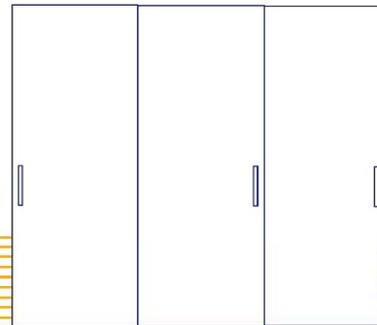
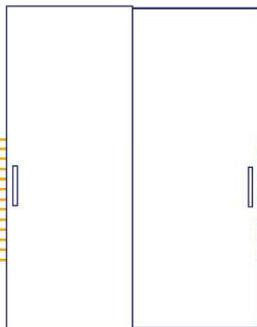
フルハイトドア®

施工手順書

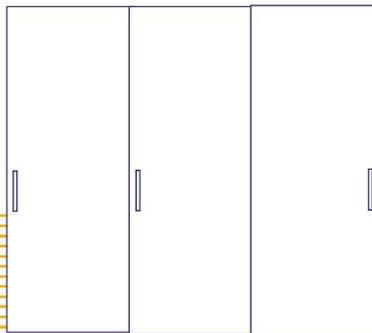
2枚引込み戸・3枚引込み戸【上吊連動タイプ】
3枚引違い戸【上吊 + 床付連動タイプ】

3枚引込み戸
上吊連動タイプ

2枚引込み戸
上吊連動タイプ



3枚引違い戸
上吊 + 床付連動タイプ



施工を担当される方へ

安全のために必ずお守りください

注意

● 施工前にこ ケーシング取付済み

- 枠・下地枠の取付 ケーシング取付済み
- 本製品の組み立てで付属ビスがある場合には、必ずそのビスを使用してください。
付属ビス以外で取り付けた場合、部材の脱落や枠のゆるみ等が発生する恐れがあります。



● ケガや事故 ケーシング取付済み

- 風の強い場所では開き戸が強く閉まるなどして手をはさむ恐れがありますので
扉を開け放しにしないようご注意ください。
- 運搬作業時は滑り止めの手袋を着用し、扉建て付け時には十分気をつけて行ってください。



● 施工前及び施工時の確認

- 本製品は屋内用ですので、屋外や水がかりする箇所には使用しないでください。
- 本製品は内装扉を用途とする商品です。他の用途として使用したり、本手順書と異なった施工をした場合の保障は当社では責任を負いかねます。
- 高温・高湿の環境条件では使用できません。
- 施工前に部材の数量・キズの有無をご確認ください。
施工後のキズについては当社では責任を負いかねます。
- 部材を保管する場合は湿気・直射日光を避け、十分な養生をしてください。
- 開口部または枠の寸法を測り、躯体または枠が正確に施工されているか、
ご用意の扉サイズが適切かどうかご確認願います。
- 施工時に電動ドライバーを使用する場合は、カラモミを防ぐため最後の締め付けは
必ず手締めにて行ってください。
- 扉の調整の際には、電動ドライバーは絶対に使用しないでください。
ビス類が破損し、調整できなくなることがあります。
- 扉や枠の表面に、長時間テープを貼らないでください。汚れ・破損・色ムラの原因になります。
また、突き板塗装ドアの場合、塗装仕上げ面には絶対にテープを貼らないでください。

● 施工後の処理

- お施主様への引渡し前に、工事管理者が必ず点検を行い、不具合箇所を補修してください。
- 施工後はキズが付かないように養生してください。
このとき、表面にテープを直接貼らないでください。
また、突き板塗装ドアの塗装仕上げ面には絶対にテープを貼らないでください。
- 清掃の際は水を固く搾った布で汚れを落とした後、柔らかい布で乾拭きしてください。
また、汚れが落ちにくい場合は、薄めた中性洗剤で汚れを落とした後、
洗剤が残らないようによく拭き取ってください。
- 内装工事が終了するまでの間は、扉をはずして保管されることをお勧めします。

□ 2枚・3枚引込み戸(上吊)

forインセット枠

施工手順書2013/6作成

改訂2022/8

■ 製品及び同梱内容の確認

- 製品を開梱して、同梱品に間違いがないか確認をお願いします。

建具			同	梱	品
部材	数量	備考			
2枚引込み戸	1枚	引手取付済み(スリット手掛けタイプはなし) ケーシング取付済み			
	1枚	ケーシング取付済み ユニット本体取付済み			
3枚引込み戸	1枚	引手取付済み(スリット手掛けタイプはなし) ケーシング取付済み			
	2枚	ケーシング取付済み ユニット本体取付済み			

ケーシング
(旧名称: 固定カップ)

インセット枠			上レール		エンドプレート	化粧キャップ
部材	数量	備考	※トリガー加工有り	※トリガー加工無し	(注1)	
縦枠	1本		2枚引込み 3枚引込み	2枚引込み 3枚引込み	2枚引込み 3枚引込み	2枚引込み 3枚引込み
同			1本	1本	4ヶ	4ヶ
			2ヶ	2ヶ	6ヶ	6ヶ
			3ヶ	1ヶ		2ヶ
			5ヶ			2ヶ
梱			1ヶ	1ヶ		
			1ヶ			
			1ヶ			
			1ヶ			
品			2ヶ	2ヶ		
			4ヶ	2ヶ		
			2ヶ	2ヶ		
			4ヶ	2ヶ		

(注1)エンドプレートは2サイズありますのでご注意ください。
 ポケット戸用(A=25mm)と、片引き戸用を含むその他の引き戸用(A=23mm)です。
 取付ける際は引き戸の種類とエンドプレートのサイズをご確認ください。

(注2)ジョイント金物は扉厚によってB寸法が異なります。
 ・扉厚41mm用: B=25.5mm
 ・扉厚36mm用(マルコシリーズのみ): B=23mm
 ※金物の刻印が異なります。B=23mm「I-29」、B=25.5mm「I-31.5」

□ 2枚・3枚引込み戸(上吊)

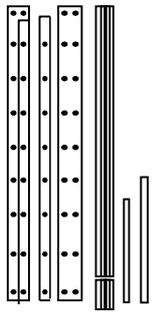
forインセット枠

施工手順書2013/6作成

改訂2022/8

■ 製品及び同梱内容の確認

- 製品を開梱して、同梱品に間違いがないか確認をお願いします。

下地枠			同 梱 品	施工手順書		
縦枠下地	1本					
中方立下地	1本					
片方立下地	1本					
上枠下地	2本	2本に分割されています				
見切縁	1本	ラフカット				
隙間隠し材	1本	上枠勝ち納まりは無し				
 <div data-bbox="335 705 598 840" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>※開口定規は同梱されておりません。 ※上枠下地は2421mm以上の場合2分割されています。</p> </div>						

□ 2枚・3枚引込み戸(上吊)

forインセット枠
 施工手順書2013/6作成
 改訂2022/8

1 施工前の確認事項

① 下地枠を取り付ける前に、開口部の中（図面：ROW寸法）と、高さ（図面：床仕上～開口高さ）の確認をしてください。 （縦枠下地は、床仕上げ面からの立ち上がりとなっているので注意してください）	※1				
		×	×	○	
	※2				
	開口の確認				

注意

※1: 下地枠は躯体（構造材）と面接合する様に取り付けますので、下地枠の裏側部分には必ず木材を全面に入れておいてください。
 ※2: 開口部(柱・まぐさ等)の水平・垂直・前後の倒れ・ねじれ等がないか、水平器等で十分に確認してください。

ケーシング取付済み

2 縦枠下地・片方立下地の取り付け

① 縦枠下地を接着剤・取り付けビス(現場手配品)併用にて躯体に固定します。(下地断面の狭い方が戸袋側で、壁厚の真ん中に取り付けてください)				×	○	
	下地裏面に接着剤全面塗布	下地表よりビス固定	ビス固定の方法			断面の狭い方が戸袋側
② 片方立下地を接着剤・取り付けビス(現場手配品)併用にて躯体に固定します。(小壁側の壁面と下地材を合せます)						
	下地裏面に接着剤全面塗布	下地表よりビス固定	片方立下地の取り付け位置			

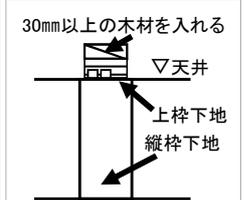
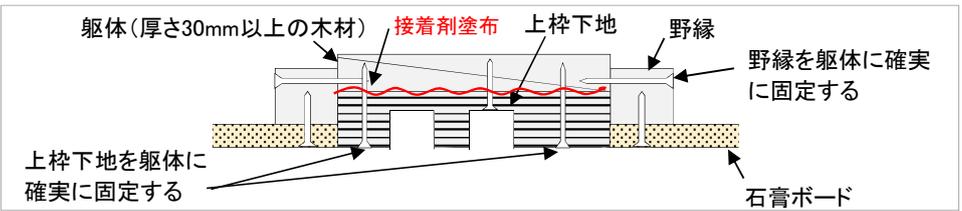
注意

※下地枠裏面には、必ず接着剤(現場手配品)を全面に塗布してください。(許ビスをお奨めします)
 ※下地枠の取り付けにはしっかりと固定できるビス(現場手配品)を使用し、必ず下穴の開いている位置でビス止めしてください。
 ※下地枠取り付け後にクロスで仕上げますので、ビスの頭が飛びさないようにしてください。

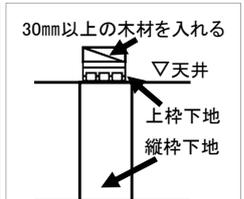
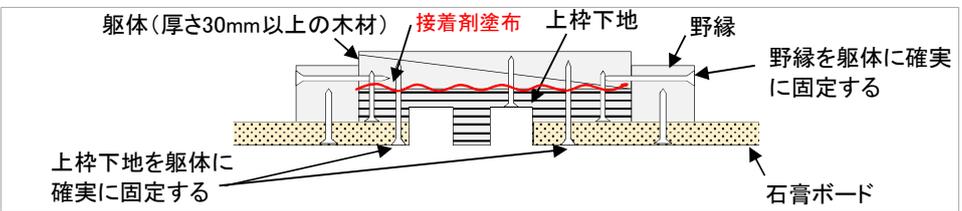
□ 2枚・3枚引込み戸(上吊)

forインセット枠
 施工手順書2013/6作成
 改訂2022/8

3-1 上枠下地の取り付け (上枠勝ち納まりの場合)

<p>① 上枠下地を接着剤・取り付けビス(現場手配品)併用にてまぐさに固定します。上枠下地の取り付け位置は、縦枠下地と同様に壁厚の真ん中に取り付けてください。(縦勝ちに納まります) 上枠下地の裏側には、30mm以上の木材を入れてください。</p>				
<p>② 上枠下地と石膏ボードを連続して納める場合、野縁を躯体にしっかりと固定します。その際、石膏ボードの厚さを確保してください。その後、石膏ボードを上枠下地に合わせて野縁に固定してください。</p>				
<p>注意</p>	<p>※下地枠裏面には、必ず接着剤(現場手配品)を全面に塗布してください。(許ビスをお奨めします) ※下地枠の取り付けにはしっかりと固定できるビス(現場手配品)を使用し、必ず下穴の開いている位置でビス止めしてください。 ※下地枠取り付け後にクロスで仕上げますので、ビスの頭が飛びさないようにしてください。またその際、レールビスと干渉しない位置にビス止めを行ってください。 ※上枠下地の裏側には、必ず30mm以上の木材を入れてください。 ※野縁は躯体にしっかりと固定してください。上枠下地が固定されている躯体に野縁が固定されていないと、クロス割れ、よれ、塗り壁の割れの原因となります。 ※縦枠下地の天井のみ込み部分は、ボードの厚み部分の欠き込みを行ってください。</p>			

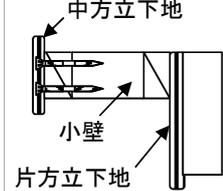
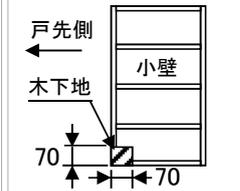
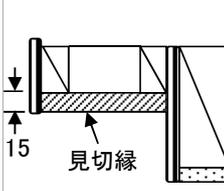
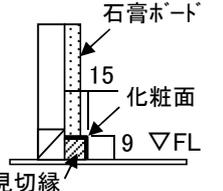
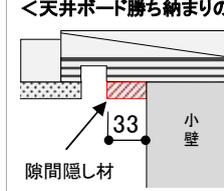
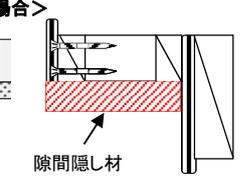
3-2 上枠下地の取り付け (天井ボード勝ち納まりの場合)

<p>① 上枠下地を接着剤・取り付けビス(現場手配品)併用にてまぐさに固定します。上枠下地の取り付け位置は、縦枠下地と同様に壁厚の真ん中に取り付けてください。(縦勝ちに納まります) その際、上枠下地の裏側には30mm以上の木材を入れてください。</p>				
<p>② 野縁を躯体にしっかりと固定します。その際、石膏ボードの厚さを確保してください。その後、石膏ボードをレール溝に合わせて野縁と上枠下地に固定してください。</p>				
<p>注意</p>	<p>※下地枠裏面には、必ず接着剤(現場手配品)を全面に塗布してください。(許ビスをお奨めします) ※下地枠の取り付けにはしっかりと固定できるビス(現場手配品)を使用し、必ず下穴の開いている位置でビス止めしてください。 ※下地枠取り付け後にクロスで仕上げますので、ビスの頭が飛びさないようにしてください。またその際、レールビスと干渉しない位置にビス止めを行ってください。 ※上枠下地の裏側には、必ず30mm以上の木材を入れてください。 ※野縁は躯体にしっかりと固定してください。上枠下地が固定されている躯体に野縁が固定されていないと、クロス割れ、よれ、塗り壁の割れの原因となります。 ※縦枠下地の天井のみ込み部分は、ボードの厚み部分の欠き込みを行ってください。</p>			

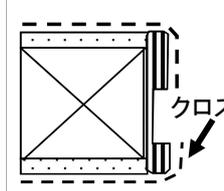
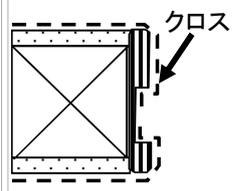
□ 2枚・3枚引込み戸(上吊)

forインセット枠
 施工手順書2013/6作成
 改訂2022/8

4 中方立下地の取り付け方

<p>① 戸袋部分に小壁を立て、中方立下地を小壁に接着剤・取り付けビス(現場手配)併用にて固定します。(中方立下地は、床仕上げ面から上枠下地の下端までの長さです) その際に金物を固定する為、小壁面から70mm、床面から70mmの範囲に必ず木下地を入れてください。</p>				
<p>② 戸袋側の小壁に沿わせて、見切縁を接着剤・タッカー(現場手配)併用にて取り付けます。見切縁の15mmの面に石膏ボードを載せてください。(石膏ボードは12.5mmの設定なので、2.5mmのチリが出ます) 天井ボード勝ち納まりの場合は、上枠下地のレール溝と小壁の間に隙間隠し材を現場で正寸カットして取りつけてください。</p>			<p><天井ボード勝ち納まりの場合></p> 	
<p>注意</p>	<p>※下地枠裏面には、必ず接着剤(現場手配品)を全面に塗布してください。(許ビ系をお奨めします) ※下地枠の取り付けにはしっかりと固定できるビス(現場手配品)を使用し、必ず下穴の開いている位置でビス止めしてください。 ※下地枠取り付け後にクロスで仕上げますので、ビスの頭が飛び出さないようにしてください。 ※見切縁は2本同梱されていますので、長さが足りない場合は継ぎ足してください。</p>			

5 巾木・クロス施工

<p>① 巾木を接着剤にて、縦枠下地のシャクリ部分の手前までまわしてください。(接着剤は酢ビ系をお奨めします)</p>				
<p>② パテ等の下地処理をした後でクロスを貼ってください。(メッシュ+下塗り+上塗りをお奨めします) その際に下地のシャクリ部分までクロスを巻き込んでください。</p>				
<p>注意</p>	<p>※上枠下地のレール溝部分は、クロスを貼り伸ばしてレール溝に巻き込んでください。</p>			

□ 2枚・3枚引込み戸(上吊)

forインセット枠
 施工手順書2013/6作成
 改訂2022/8

6 インセット枠の取り付け

①	インセット枠を下地のシャクリ部分にはめ込み、同梱のMSビスにて枠を固定します。全てのビス固定が終わったら、手動ドライバーで手締めして完全に固定してください。				
		インセット枠固定 (MSビス)	手動ドライバーで完全に固定		
注意	※インセット枠は正寸カットにて出荷していますので、現場にてカットしないでください。(床仕上面よりの立ち上りとなります)				

7 上レールの取り付け

①	ソフトクローズ対応の上レールを取り付ける際は、戸先側・戸尻側の向きを確認してください(両側ソフトクローズ付の為、両側にトリガー穴加工がされていて、距離の短い方が戸先側になります)。 上レールは別途梱包にあります。				
		上レール長手の戸先側・戸尻側の向き確認 ※上レール短手はどちら向きでも取付可能			
②	上レールを取り付ける前に、あらかじめ上部吊車を戸先側から上レール内に入れてください。上レール端部にエンドプレートを両面テープで仮止めし、付属の取り付けビスで、上レールとエンドプレートを上枠に固定してください。	<p>デュアルソフトローラー 上ローラー 上レール長手</p> <p>ローラーの向きに注意</p>	<p>上ローラー 上ローラー 上レール短手</p> <p>ローラーの向きに注意</p>	<p>エンドプレート (両面テープ付き)</p>	
		上ローラーを戸先側から左右両方のレール内に入れる		エンドプレートを両面テープで仮止めし、上レールと一緒に固定する	
注意	※上ローラーの向きに注意してください。(突起がある方が内側) ※金物が破損する原因となりますので、過度な勢いで扉の開閉を行わないでください。				

□ 2枚・3枚引込み戸(上吊)

forインセット枠
 施工手順書2013/6作成
 改訂2022/8

8 トリガーの取り付け

<p>① トリガーを取付治具にセットします。</p>	<p>トリガー取付治具 トリガー</p>			
<p>② トリガーをトリガー取付穴に合わせてください。 治具を90°回し、トリガーを付属ねじで取付けてください。 治具の向きを戻し外してください。</p>	<p>トリガーの穴を合わせる</p>	<p>90° 治具を90°回し、トリガーを取付ける</p>	<p>90° 治具を外す</p>	<p>✕ 段差に乗り上げている ○ 正しい取付</p>
<p>注意</p>	<p>※溝に真っ直ぐ入っていない状態でビス止めすると、トリガーが変形してしまう恐れがあるので注意してください。 ※トリガーは上レールの溝部分に真っ直ぐに入るように入力して、必ず手動ドライバーにて固定してください。</p>			

9-1 連動金物の取付け (キャッチ金物の取付け) 2枚引込み戸の場合

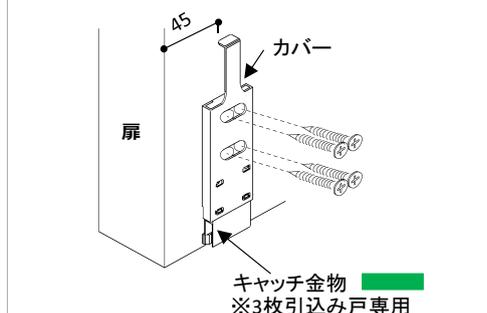
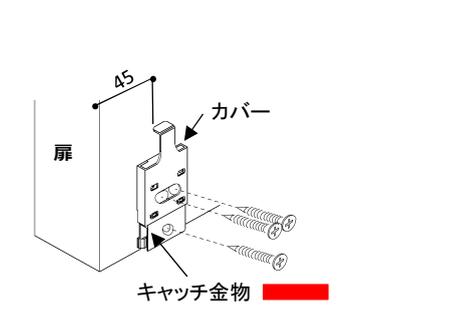
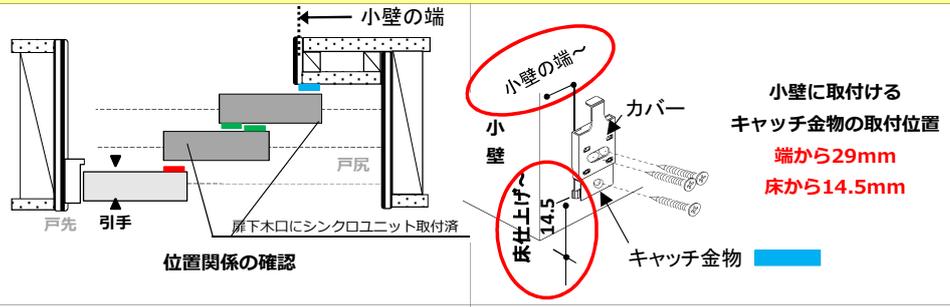
<p>① 右表のとおり取付位置を確認し、キャッチ金物を小壁、扉に取付けてください。 【注意事項】 小壁には、小壁の端から29mm 床仕上げから14.5mmの位置に取付けてください。 ※扉には取付用の下穴加工があります。</p>	<p>位置関係の確認</p>	<p>小壁に取付ける キャッチ金物の取付位置 端から29mm 床から14.5mm</p> <p>小壁の端 カバー 小壁 床仕上げ 14.5 キャッチ金物</p>
<p>注意</p>	<p>※キャッチ金物の上側2本のねじを締め過ぎて樹脂を変形させないでください。樹脂部分が変形してカバーが下がらなくなる恐れがあるので注意してください。 ※キャッチ金物のカバーは、現時点では下ろさないでください。扉吊り込み後にジョイント金物が差し込めなくなります。 ※ねじの頭が浮かないように取付けてください。</p>	

□ 2枚・3枚引込み戸(上吊)

forインセット枠
 施工手順書2013/6作成
 改訂2022/8

9-1 連動金物の取付け (キャッチ金物の取付け) 3枚引込み戸の場合

- ① 右表のとおり取付位置を確認し、キャッチ金物を小壁、扉に取付けてください。
- 【注意事項】**
 小壁には、小壁の端から29mm 床仕上げから14.5mmの位置に取付けてください。
 ※扉には取付用の下穴加工があります。

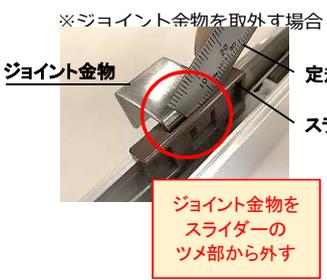


注意

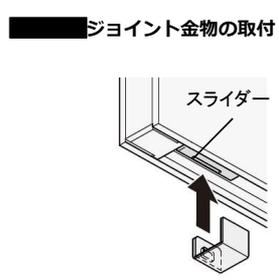
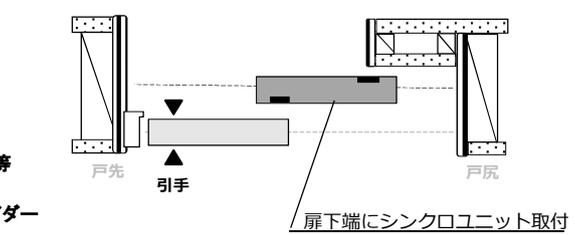
※キャッチ金物の上側2本のねじを締め過ぎて樹脂を変形させないでください。樹脂部分が変形してカバーが下がらなくなる恐れがあるので注意してください。
 ※キャッチ金物のカバーは、現時点では下ろさないでください。扉吊り込み後にジョイント金物が差し込めなくなります。
 ※ねじの頭が浮かないように取付けてください。

9-2 連動金物の取付け (ジョイント金物の取付け)

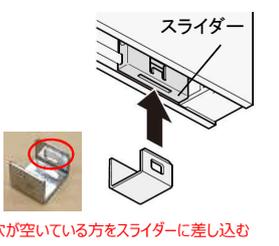
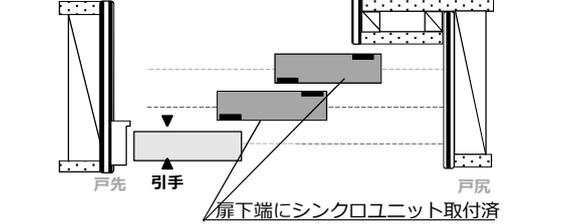
- ① 右表のとおり各納まりに応じ、扉下木口に取付済みのシンクロユニットの-sliderにジョイント金物を取付けます。



【2枚引込み戸(連動)・ジョイント金物取付位置】



【3枚引込み戸(連動)・ジョイント金物取付位置】



注意

※各種ジョイント金物の位置や向きを間違えないように取付けてください。穴加工のある方をユニット本体のスライダに差し込んでください。
 ※各種ジョイント金物の挿入後は、扉を立てた状態で床置きしないでください。スライダに負荷が掛かり破損してしまう恐れがあります。
 扉を立てる場合は、当て木等でジョイント金物に直接負荷が掛からないようにしてから置いてください。

□ 2枚・3枚引込み戸(上吊)

forインセット枠
 施工手順書2013/6作成
 改訂2022/8

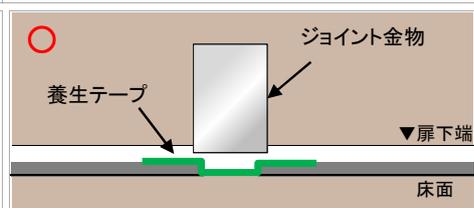
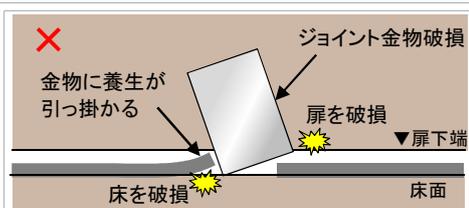
10-1 ドア開口の床面に養生をする場合の注意事項

- ① 養生が浮き上がらないように、ふち及び継ぎ目を養生テープでしっかりと貼付けてください。養生が扉の連動金物に引っ掛かると扉や床を傷付け、金物が破損します。



養生が浮き上がらないように
 ふち及び継ぎ目を養生テープでしっかりと貼付け

扉の閉閉時に、ジョイント金物に養生が
 引っ掛からないか確認



養生が浮いて、金物に引っ掛かる

金物に養生が引っ掛からず、開閉が出来る

**注
 意**

※養生が浮き上がらないように、ふち及び継ぎ目を養生テープでしっかりと貼付けてください。養生が扉の連動金物に引っ掛かると扉や床を傷付け、金物が破損します。

10-2 建具の吊り込み (ケーシングと上ローラーの連結)

建具を起こしていきながら、建具上部のケーシングと上レール内にある上ローラーを連結し、吊り込んでください。



ケーシングと
 上ローラーする

パチンの音を確認

上ローラーのレバーの位置を確認する

**注
 意**

- ※建具を持ち上げる際は天井に建具がぶつからない様に気を付けてください。
- ※上ローラーとケーシングは、パチンと音が鳴るまで連結させてください。最後まで入っていないと、使用中、外れる恐れがあります。
- ※上ローラーを取り外す際、素手で外れない場合は、プライヤー等工具を使用し取り外してください。
- ※金物が破損する原因となりますので、過度な勢いで扉の開閉を行わないでください。

□ 2枚・3枚引込み戸(上吊)

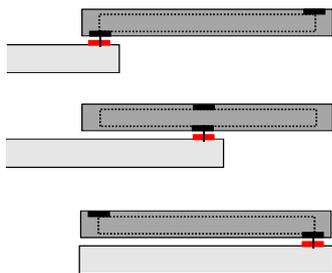
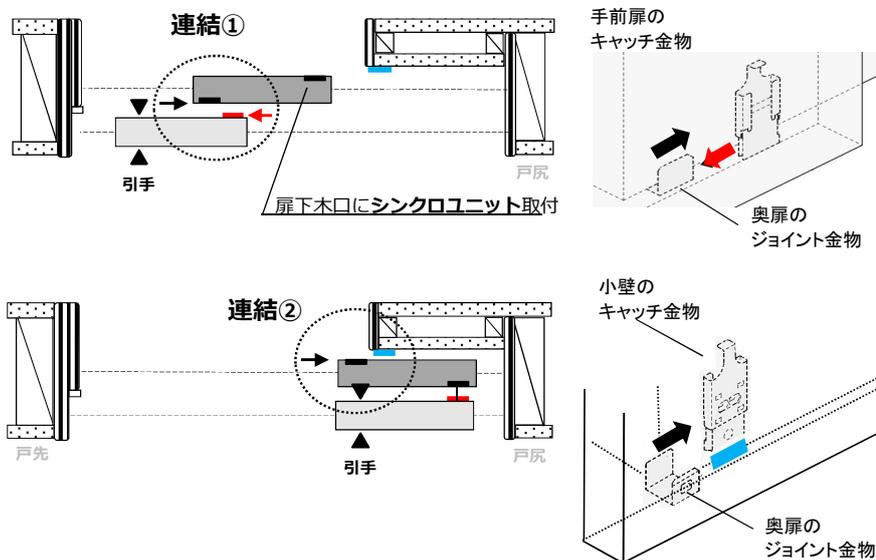
forインセット枠

施工手順書2013/6作成

改訂2022/8

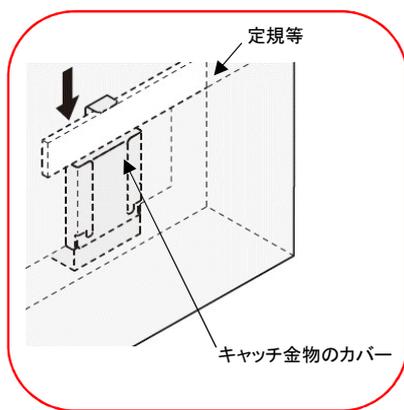
10-3 建具の吊り込み (キャッチ金物とジョイント金物の連結) 2枚引込み戸の場合

- ① 右表のとおり納まりに応じ、キャッチ金物とジョイント金物を連結してください。
 連結①：扉同士
 連結②：扉と小壁の連結



【シンクロユニットの特徴】
 ワイヤー(スライダー付)に連動して常にジョイント金物同士は対象に動きます。

- ② キャッチ金物とジョイント金物の連結完了後、建具同士、もしくは建具と小壁の隙間からドライバーや定規等でキャッチ金物のカバーを必ず下ろして固定してください。



※キャッチ金物とジョイント金物の連結完了後は、必ずキャッチ金物のカバーを必ず下して固定してください。

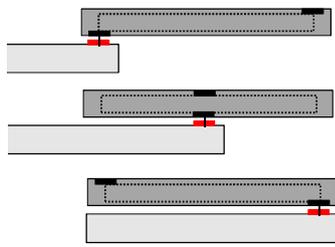
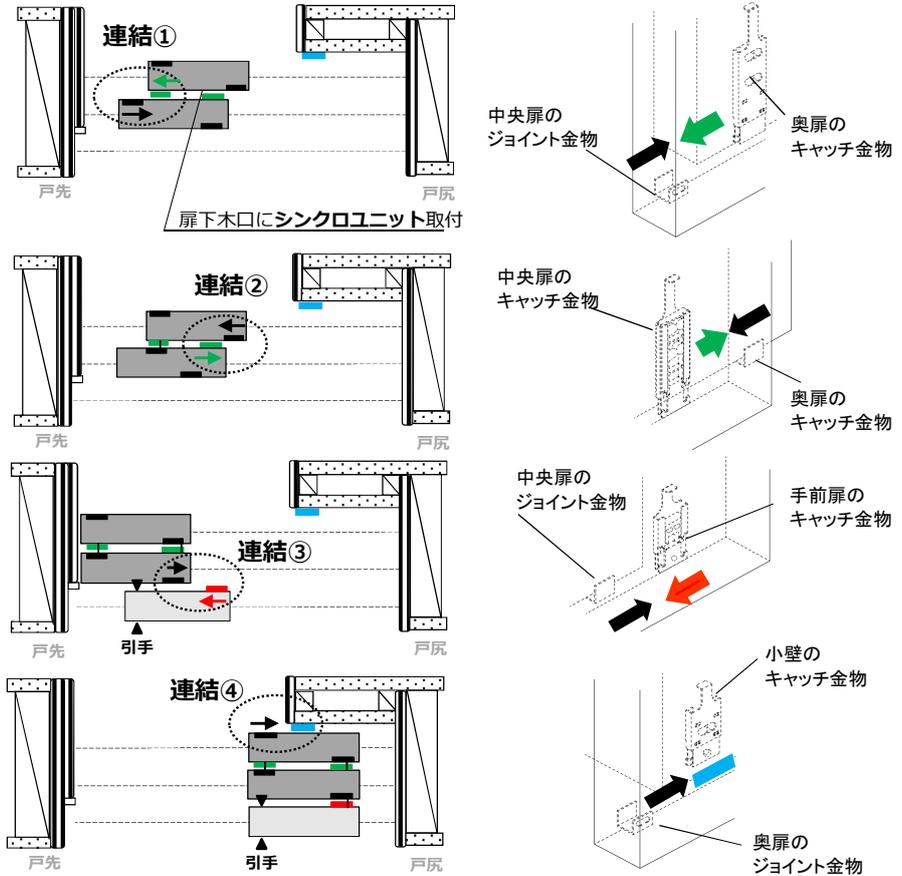
注意

□ 2枚・3枚引込み戸(上吊)

forインセット枠
 施工手順書2013/6作成
 改訂2022/8

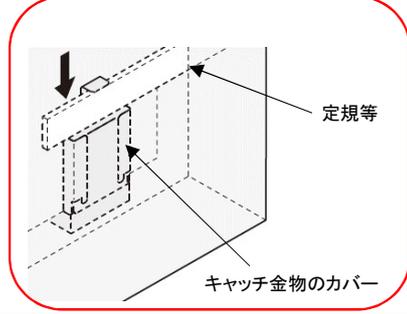
10-3 建具の吊り込み (キャッチ金物とジョイント金物の連結) 3枚引込み戸の場合

- ① 右表のとおり納まりに応じ、キャッチ金物とジョイント金物を連結してください。
 連結①：奥扉と中央扉の連結1
 連結②：奥扉と中央扉の連結2
 連結③：手前扉と中央扉の連結
 連結④：奥扉と小壁の連結



【シンクロユニットの特徴】
 ワイヤー(スライダー付)に連動して常にジョイント金物同士は対象に動きません。

- ② キャッチ金物とジョイント金物の連結完了後、建具同士、もしくは建具と小壁の隙間からドライバーや定規等でキャッチ金物のカバーを必ず下ろして固定してください。

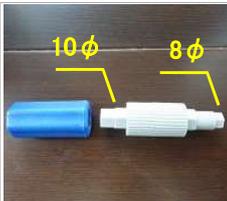
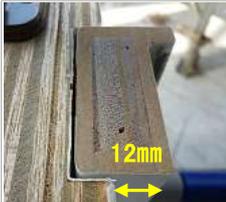
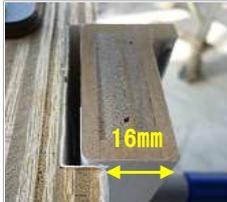


注意 ※キャッチ金物とジョイント金物の連結完了後は、必ずキャッチ金物のカバーを必ず下して固定してください。

□ 2枚・3枚引込み戸(上吊)

forインセット枠
 施工手順書2013/6作成
 改訂2022/8

11 MS金物の調整

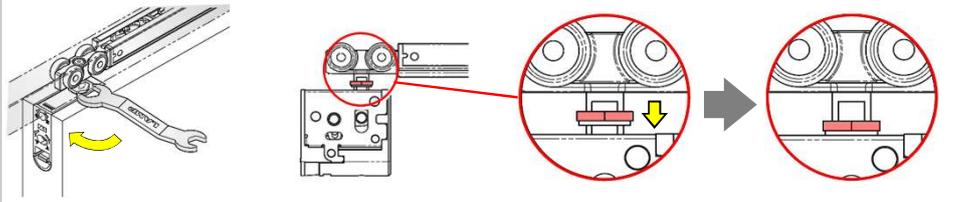
<p>① 枠内寸法を確認し、戸先側のインセット枠に内蔵してあるMS金物を、8φの六角レンチにてロックを解除します。</p>				
	六角レンチ	ロック解除 (8φ)		
<p>② 調整は10φの六角レンチで巾方向の調整を行います。(±2.0mm) その際、枠の出荷時の見付寸法はクロス後、14mmの設定ですので、12~16mmの範囲で調整してください。(16mm以上飛び出すと嵌合しなくなり、はずれる恐れがあります) 調整後は8φ六角レンチにて、必ずロックしてください。</p>				
	左右の調整 (10φ) (±2mm)	引込めた状態 (見付12mm)	飛び出した状態 (見付16mm)	ロック (8φ)
<p>注意</p>	<p>※枠出荷時にはロックが掛かっていますので、必ずロックを解除して調整を行ってください。また、解除時に45°以上は回さないでください。(ロックを解除しないで調整を行うと、MS金物が破損する恐れがあります)</p>			

12 上ローラーの調整

<p>① 吊り込み後に上ローラーで調整をする際は、上下調整は下側のネジ、左右調整は上側のネジにて、手動ドライバーで行ってください。</p>			<p>【調整範囲】 上方向3.0mm 下方向4.0mm 左右方向±2.0mm</p>	
	上ローラー 上下の調整	上ローラー 左右の調整		
<p>注意</p>	<p>※調整の際に電動ドライバーは使用しないでください。</p>			

□ 2枚・3枚引込み戸(上吊)

forインセット枠
 施工手順書2013/6作成
 改訂2022/8

13 化粧キャップとビスキャップの取付け・跳ね上がり防止ナットの固定			
<p>① 全ての調整を終えたら、化粧キャップを取付けてください。外す場合は、化粧キャップの溝にマイナスドライバー等を差し込み外してください。同梱のビスキャップをインセット枠の穴にはめ込みます。すべての穴に取り付けてください。</p>	 <p>化粧キャップを取付ける</p>	 <p>化粧キャップの外し方のコツ</p>	 <p>ビスキャップの取り付け</p>
	<p>※化粧キャップを外す場合 化粧キャップの溝にマイナスドライバー等を差し込み外す</p>		
<p>② 両側のローラー吊軸の跳ね上がり防止ナットを、本体に接触するまでスパナで締めてください。</p>	 <p>両側のローラー吊軸の跳ね上がり防止ナットを、本体に接触するまでスパナで締める</p>		
<p>注意</p>	<p>※跳ね上がり防止ナット必ず締めてください。締め忘れは、故障・破損の原因になります。 ※跳ね上がり防止ナットは締めすぎないでください。締めすぎると扉が下がり調整がずれます。</p>		

□ 3枚引違い戸(上吊+床付レール・連動タイプ)

forインセット枠

施工手順書2013/6作成

改訂2022/8

■ 製品及び同梱内容の確認

- 製品を開梱して、同梱品に間違いがないか確認をお願いします。

建具			同	梱	品									
部材	数量	備考												
引き戸	1枚	引手取付済み(スリット手掛けタイプはなし) ケーシング取付済み ケーシング取付済み												
	1枚	ケーシング取付済み ユニット本体取付済み												
	1枚	ケーシング取付済み ケーシング取付済み												
<p>ケーシング (旧名称: 固定カップ)</p>														
インセット枠			同	梱	品									
部材	数量	備考												
縦枠	2本													
						上レール	エンドプレート	化粧キャップ						
						※トリガー加工有り 2本(付属ビス含む)	※トリガー加工無し 1本(付属ビス含む)	(注1) 6ヶ(ビス6本付)	6ヶ					
						上ローラー	デュアルソフトクローザー	トリガー						
						4ヶ	2ヶ	4ヶ(ビス8本付)						
						トリガー取付治具	スパナ	ジョイント金物	キャッチ金物					
						1ヶ	1ヶ	(注2) 2ヶ	2個(付属ビス含む)					
						床付レール(面付)	六角レンチ(3枚引込み戸の場合)	MSEビス	ビスキャップ					
			1本(付属ビス含む)	φ8 1本、φ12 1本	1セット <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>H24</td> <td>10本</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>12本</td> </tr> </table>	H24	10本	H27	12本	1セット <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>H24</td> <td>10ヶ</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>12ヶ</td> </tr> </table>	H24	10ヶ	H27	12ヶ
			H24	10本										
			H27	12本										
H24	10ヶ													
H27	12ヶ													

(注1)エンドプレートは2サイズありますのでご注意ください。
 ポケット戸用(A=25mm)と、片引き戸用を含むその他の引き戸用(A=23mm)です。
 取付ける際は引き戸の種類とエンドプレートのサイズをご確認ください。

(注2)ジョイント金物は扉厚によってB寸法が異なります。
 ・扉厚41mm用: B=25.5mm
 ・扉厚36mm用(パーティションシリーズのみ): B=23mm
 ※金物の刻印が異なります。B=23mm「I-29」、B=25.5mm「I-31.5」

□ 3枚引違い戸(上吊+床付レール・連動タイプ)

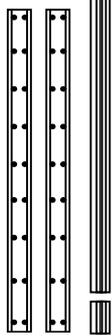
forインセット枠

施工手順書2013/6作成

改訂2022/8

■ 製品及び同梱内容の確認

- 製品を開梱して、同梱品に間違いがないか確認をお願いします。

下地枠			施工手順書	床付レール(埋込V)		
部材	数量	備考		 1本		
縦枠下地	2本					
上枠下地	2本	2本に分割されています				
床付けレール	1本	埋込Vの時のみ				
 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ※開口定規は同梱されておりません。 ※上枠下地は2421mm以上の場合2分割されています。 </div>			同			
			梱			
			品			

□ 3枚引違い戸(上吊+床付レール・連動タイプ)

forインセット枠

施工手順書2013/6作成

改訂2022/8

1 施工前の確認事項

<p>① 下地枠を取り付ける前に、開口部の巾（図面：ROW寸法）と、高さ（図面：床仕上～開口高さ）の確認をしてください。 （縦枠下地は、床仕上げ面からの立ち上がりとなっているので注意してください）</p>	<p>※1</p>		
	<p>×</p>	<p>×</p>	<p>○</p>
	<p>※2</p>		
	<p>開口の確認</p>		
<p>注意</p>	<p>※1: 下地枠は躯体（構造材）と面接合する様に取り付けますので、下地枠の裏側部分には必ず木材を全面に入れておいてください。 ※2: 開口部（柱・まぐさ等）の水平・垂直・前後の倒れ・ねじれ等がないか、水平器等で十分に確認してください。</p>		

ケーシング取付済み

1-2 施工前の確認事項（床付レール（埋込V）取付の場合）

<p>① 床付レール（埋込V）を床に取り付ける場合、右図の所定位置に、床付レール（埋込V）を埋め込む溝を確保してください。 縦枠面から縦枠面まで、巾9mm 深さ6.5mmの溝を確保してください。</p>			
	<p>床付レール（埋込V）の取り付け溝位置</p>	<p>床付レール（埋込V）の取り付け溝断面</p>	<p>床付レール（埋込V）納まり図</p>
<p>注意</p>	<p>※床付レール（埋込V）は内外どちら側かを選択出来ます。現場にてお決めください。 ※床付レール（埋込V）がきつ入らなかつたり、緩くて外れてしまわないように、床付レール（埋込V）を埋め込む溝の巾は指定の寸法9mmを守ってください。また、段差が出来ないように、溝の深さも指定の寸法6.5mmにしてください。 ※床付レール（埋込V）を埋め込む溝は、縦枠面から片方立下地の巾木面までとなります。</p>		

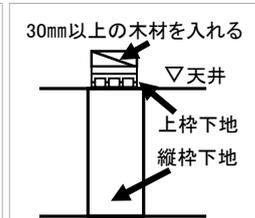
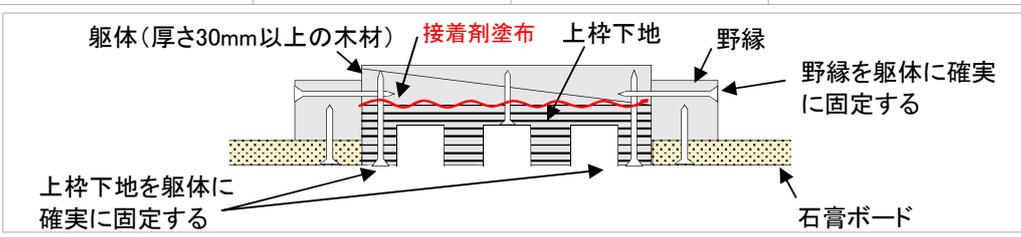
□ 3枚引違い戸(上吊+床付レール・連動タイプ)

forインセット枠
 施工手順書2013/6作成
 改訂2022/8

2 縦枠下地の取り付け

<p>① 縦枠下地を接着剤・取り付けビス(現場手配品)併用にて躯体に固定します。(壁厚の真ん中に取り付けてください)</p>				
	<p>下地裏面に接着剤全面塗布</p>	<p>下地表よりビス固定</p>	<p>ビス固定の方法 ×</p>	<p>ビス固定の方法 ○</p>
<p>注意</p>	<p>※下地枠裏面には、必ず接着剤(現場手配品)を全面に塗布してください。(許ビスをお奨めします) ※下地枠の取り付けには、しっかりと固定できるビス(現場手配品)を使用し、必ず下穴の開いている位置でビス止めしてください。 ※下地枠取り付け後にクロスで仕上げますので、ビスの頭が飛び出さないようにしてください。</p>			

3-1 上枠下地の取り付け (上枠勝ち納まりの場合)

<p>① 上枠下地を接着剤・取り付けビス(現場手配品)併用にてまぐさに固定します。上枠下地の取り付け位置は、縦枠下地と同様に壁厚の真ん中に取り付けてください。(縦勝ちに納まります) その際、上枠下地の裏側には30mm以上の木材を入れてください。</p>				
	<p>下地裏面に接着剤全面塗布</p>	<p>縦枠勝ちに納める</p>	<p>下地表よりビス固定</p>	<p>上枠下地の裏には30mm以上の木材を入れる</p>
<p>② 上枠下地と石膏ボードを連続して納める場合、野縁を躯体にしっかりと固定します。その際、石膏ボードの厚さを確保してください。その後、石膏ボードを上枠下地に合わせて野縁に固定してください。</p>				
	<p>天井石膏ボードを固定する野縁材と上枠下地は躯体側木下地にしっかりと固定してください。しっかりと固定されていないと、クロスヒビ、ヨレ、塗り壁のヒビの原因となります。</p>			
<p>注意</p>	<p>※下地枠裏面には、必ず接着剤(現場手配品)を全面に塗布してください。(許ビスをお奨めします) ※下地枠の取り付けには、しっかりと固定できるビス(現場手配品)を使用し、必ず下穴の開いている位置でビス止めしてください。 ※下地枠取り付け後にクロスで仕上げますので、ビスの頭が飛び出さないようにしてください。またその際、レールビスと干渉しない位置にてビス止めを行ってください。 ※上枠下地の裏側には、必ず30mm以上の木材を入れてください。 ※野縁は躯体にしっかりと固定してください。上枠下地が固定されている躯体に野縁が固定されていないと、クロス割れ、よれ、塗り壁の割れの原因となります。 ※縦枠下地の天井のみ込み部分は、ボードの厚み部分の欠き込みを行ってください。</p>			

□ 3枚引違い戸(上吊+床付レール・連動タイプ)

forインセット枠
 施工手順書2013/6作成
 改訂2022/8

3-2 上枠下地の取り付け (天井ボード勝ち納まりの場合)

<p>① 上枠下地を接着剤・取り付けビス(現場手配品)併用にてまぐさに固定します。上枠下地の取り付け位置は、縦枠下地と同様に壁厚の真ん中に取り付けてください。(縦勝ちに納まります)その際、上枠下地の裏側には30mm以上の木材を入れてください。</p>				
	<p>下地裏面に接着剤全面塗布</p>	<p>縦枠勝ちに納める</p>	<p>下地表よりビス固定</p>	<p>上枠下地の裏には30mm以上の木材を入れる</p>
<p>② 野縁を躯体にしっかりと固定します。その際、石膏ボードの厚さを確保してしてください。その後、石膏ボードをレール溝に合わせて野縁と上枠下地に固定してください。</p>	<p style="text-align: center; color: red;">天井石膏ボードを固定する野縁材と上枠下地は躯体側木下地にしっかりと固定してください。しっかり固定されていないと、クロスの子ビ、ヨレ、塗り壁の子ビの原因となります。</p>			
<p>注意</p>	<p>※下地枠裏面には、必ず接着剤(現場手配品)を全面に塗布してください。(酢ビ系をお奨めします) ※下地枠の取り付けにはしっかりと固定できるビス(現場手配品)を使用し、必ず下穴の開いている位置でビス止めしてください。 ※下地枠取り付け後にクロスで仕上げますので、ビスの頭が飛び出さないようにしてください。またその際、レールビスと干渉しない位置にてビス止めを行ってください。 ※上枠下地の裏側には、必ず30mm以上の木材を入れてください。 ※野縁は躯体にしっかりと固定してください。上枠下地が固定されている躯体に野縁が固定されていないと、クロスの子割れ、よれ、塗り壁の子割れの原因となります。 ※縦枠下地の天井のみ込み部分は、ボードの厚み部分の欠き込みを行ってください。</p>			

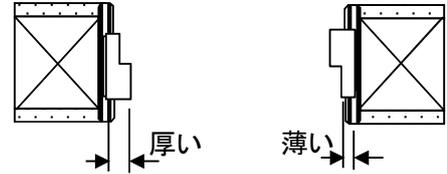
4 巾木・クロス施工

<p>① 巾木を接着剤にて、縦枠下地のシャクリ部分の手前までまわしてください。(接着剤は酢ビ系をお奨めします)</p>				
	<p>接着剤全面塗布</p>	<p>巾木の取り付け方</p>	<p>巾木の取り付け方 ×</p>	<p>巾木の取り付け方 ○</p>
<p>② パテ等の下地処理をした後でクロスを貼ってください。(メッシュ+下塗り+上塗りをお奨めします)その際に、下地のシャクリ部分までクロスを巻き込んでください。</p>				
	<p>メッシュテープ貼り</p>	<p>パテ処理</p>	<p>クロスの貼り方 ×</p>	<p>クロスの貼り方 ○</p>
<p>注意</p>	<p>※上枠下地のレール溝部分は、クロスを貼り伸ばして上レール溝に巻き込んでください。</p>			

□ 3枚引違い戸(上吊+床付レール・連動タイプ)

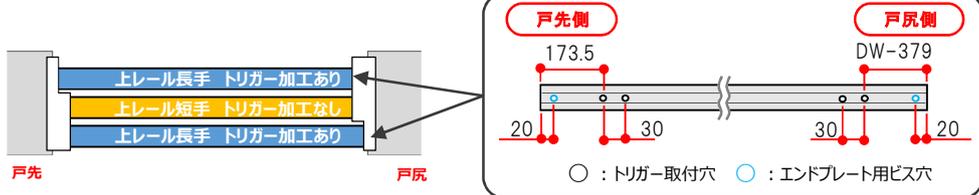
forインセット枠
 施工手順書2013/6作成
 改訂2022/8

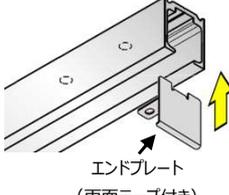
5 インセット枠の取り付け

<p>① インセット枠を下地のシャクリ部分にはめ込み、同梱のMSビスにて枠を固定します。(向かって左側はインセット枠断面が厚い方、右側は薄い方) 全てのビス固定が終わったら、手動ドライバーで手締めして完全に固定してください。</p>			
	<p>インセット枠固定 (MSビス)</p>	<p>インセット枠の向き 向って左側が厚い方、右側が薄い方</p>	<p>手動ドライバーで完全に固定</p>

注意 ※インセット枠は正寸カットにて出荷していますので、現場にてカットしないでください。(床仕上面よりの立ち上りとなります)

6 上レールの取り付け

<p>① ソフトクローズ対応の上レールを取り付ける際は、戸先側・戸尻側の向きを確認してください。(両側ソフトクローズ付の為、両側にトリガー穴加工がされており、距離の短い方が戸先側になります) 中央の上レールは、トリガー加工無しの物を取付けてください。</p>	
	<p>上レール長手の戸先側・戸尻側の向き確認 ※上レール短手はどちら向きでも取付可能</p>

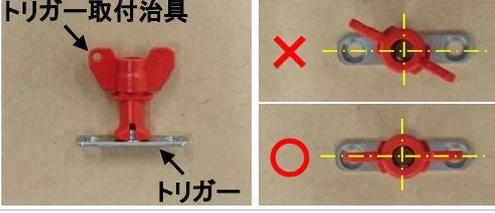
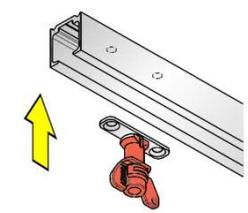
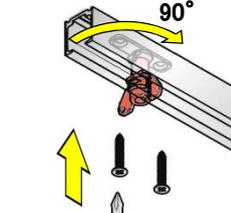
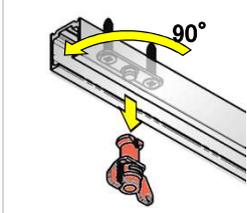
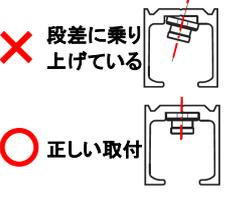
<p>② 上レールを取り付ける前に、あらかじめ上ローラーを戸先側から上レール内に入れてください。 上レール端部にエンドプレート(両面テープ付き)を仮止めし、付属の取り付けビスで、上レールとエンドプレートを上枠に固定してください。</p>		
	<p>上ローラーを戸先側から左右両方の上レール内に入れる</p>	<p>エンドプレートを両面テープで仮止めし、上レールと一緒に固定する</p>

注意 ※溝に真っ直ぐ入っていない状態でビス止めすると、トリガーが変形してしまう恐れがあるので注意してください。
 ※トリガーは上レールの溝部分に真っ直ぐに入るようにして、必ず手動ドライバーにて固定してください。

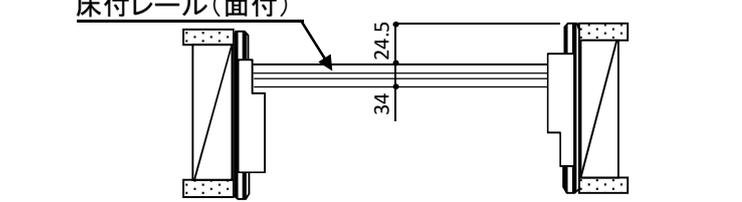
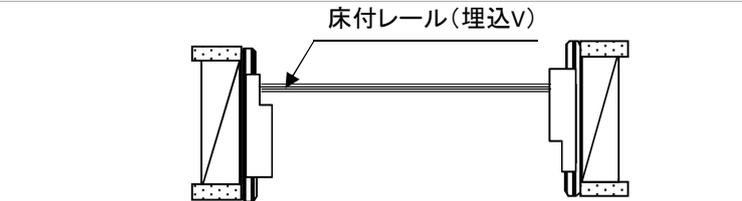
□ 3枚引違い戸(上吊+床付レール・連動タイプ)

forインセット枠
 施工手順書2013/6作成
 改訂2022/8

7 トリガーの取り付け

<p>① トリガーを取付治具にセットします。</p>	 <p>トリガーを取付治具にセット</p>			
<p>② トリガーをトリガー取付穴に合わせてください。 治具を90°回し、トリガーを付属ねじで取付けてください。 治具の向きを戻し外してください。</p>	 <p>トリガーの穴を合わせる</p>	 <p>治具を90°回し、トリガーを取付ける</p>	 <p>治具を外す</p>	 <p>✕ 段差に乗り上げている ○ 正しい取付</p>
<p>注意</p>	<p>※溝に真っ直ぐ入っていない状態でビス止めすると、トリガーが変形してしまう恐れがあるので注意してください。 ※トリガーは上レールの溝部分に真っ直ぐに入るようにして、必ず手動ドライバーにて固定してください。</p>			

8 床付レールの取り付け(金物は別途金物箱にあります)

<p>① 床付レール(面付)を床に取り付けます。右図の所定位置に付属のビスで取り付けてください。 ビスの取付は、中央から始め両端側の順に止めてください。</p>	 <p>床付レール(面付)の取り付け位置</p>	
<p>② 床付レール(埋込V)の場合 床付レール(埋込V)に当て木をして、溝に埋め込んでください。</p>	 <p>床付レール(埋込V)の取り付け位置</p>	
<p>注意</p>	<p>※床付けレールは内外どちら側かを選択出来ます。現場にてお決めください。 ※床付レール(面付)の取り付けの際、ビスを締め付けすぎるとレールが変形する恐れがありますので、最後の締め付けは必ず手動ドライバーで行ってください。 ※床材の伸縮によりレールが浮いた場合は、一度取外して再取付してください。その際、必要に応じレール裏面に両面テープを付けてください。 ※床付レール(埋込V)の溝巾が広がってしまい、レールが外れてしまう場合には、両面テープ(現場手配品)をレールの底面に貼り付けて対応してください。</p>	

□ 3枚引違い戸(上吊+床付レール・連動タイプ)

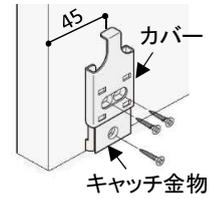
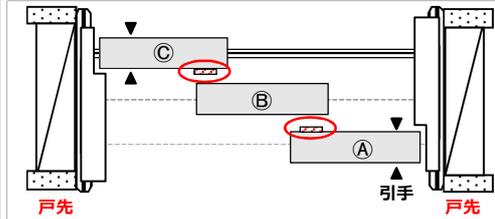
forインセット枠

施工手順書2013/6作成

改訂2022/8

9-1 連動金物の取付け (キャッチ金物の取付け)

- ① 引き手のある扉下部にある下穴にキャッチ金物を取付けてください。
中央の扉には、キャッチ金物は取り付けません。



位置関係の確認

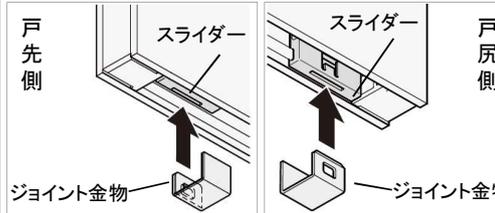
○: キャッチ金物の取付け箇所

手前側扉(A・C): 下穴にキャッチ金物を取付け

- 注意**
 ※キャッチ金物の上側2本のねじを締め過ぎて樹脂を変形させないでください。樹脂部分が変形してカバーが下がらなくなる恐れがあるので注意してください。
 ※キャッチ金物のカバーは、現時点では下ろさないでください。扉吊り込み後にジョイント金物が差し込めなくなります。
 ※ねじの頭が浮かないように取付けてください。

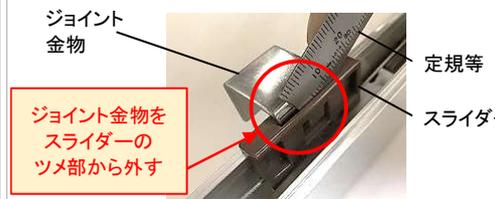
9-2 連動金物の取付け (ジョイント金物の取付け)

- ① 中央の扉下部にあるユニット本体のスライダー部にジョイント金物(穴加工側)を差し込んでください。



中央の扉下部にあるユニット本体のスライダー部に
ジョイント金物(穴加工側)を差し込む

- ※ジョイント金物を外す場合**
 スライダーにジョイント金物を差し込んだ後、やむを得ず外す場合は、ジョイント金物とスライダーの隙間に定規等を差し込みツメ部から外し、引き抜いてください。



ジョイント金物とスライダーの隙間に
定規等を差し込みツメ部から外し、引き抜く

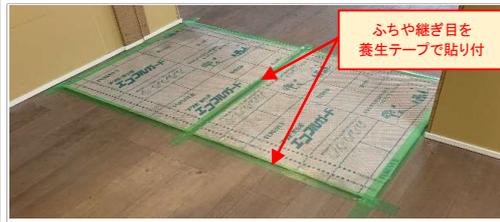
- 注意**
 ※各種ジョイント金物の位置や向きを間違えないように取付けてください。
 ※ジョイント金物は穴加工のある方をユニット本体のスライダーに差し込んでください。
 ※各種ジョイント金物の挿入後は、扉を立てた状態で床置きしないでください。スライダーに負荷が掛かり破損してしまう恐れがあります。
 扉を立てる場合は、当て木等でジョイント金物に直接負荷が掛からないようにしてから置いてください。

□ 3枚引違い戸(上吊+床付レール・連動タイプ)

forインセット枠
 施工手順書2013/6作成
 改訂2022/8

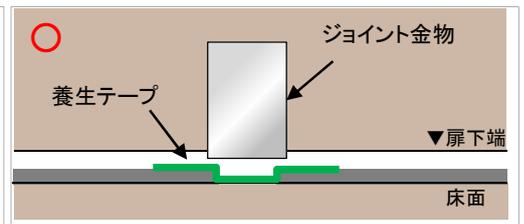
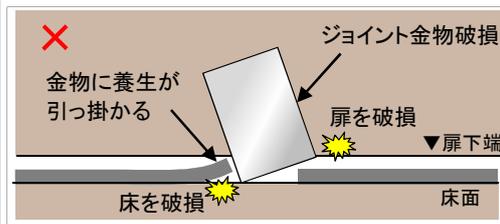
10-1 ※ドア開口の床面に養生をする場合

① 養生が浮き上がらないように、ふち及び継ぎ目を養生テープでしっかりと貼付けてください。養生が扉の連動金物に引っ掛かると扉や床を傷付け、金物が破損します。



養生が浮き上がらないように
 ふち及び継ぎ目を養生テープでしっかりと貼付け

扉の開閉時に、ジョイント金物に養生が
 引っ掛からないか確認



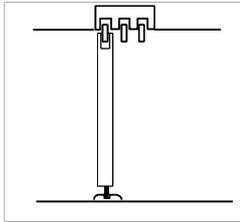
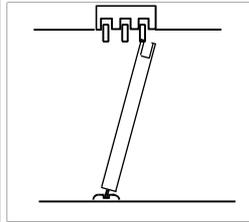
養生が浮いて、金物に引っ掛かる

金物に養生が引っ掛からず、開閉が出来る

注意 ※養生が浮き上がらないように、ふち及び継ぎ目を養生テープでしっかりと貼付けてください。養生が扉の連動金物に引っ掛かると扉や床を傷付け、金物が破損します。

10-2 建具の吊り込み (ケーシングと上ローラーの連結)

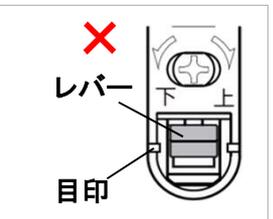
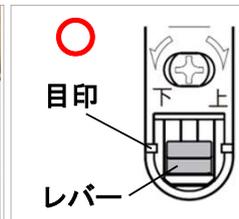
① 先ず戸車付きの扉から、吊り込みます。建具の戸車を床付レールの溝にはめ込み、建具を起こしていきながら上レールの上ローラーと、建具のケーシングを連結させます。



戸車を床付レールの溝にはめ込む

上ローラーと建具のケーシングを連結させる

② 次に2枚目(ユニット本体付の扉)、3枚目の建具も1枚目と同様に、建具を起こしていきながら、上レールの上ローラーと建具のケーシングを連結させて吊り込み完了です。



ケーシングと上ローラーを連結する

パチンの音を確認

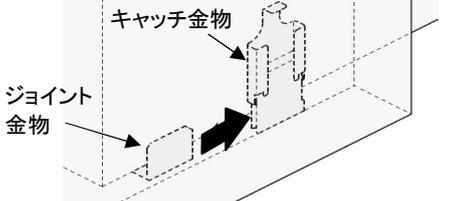
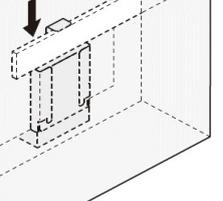
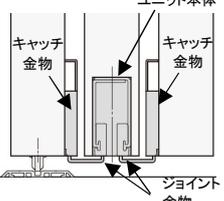
上ローラーのレバーの位置を確認する

注意 ※建具を持ち上げる際は天井に建具がぶるからない様に気を付けてください。
 ※上ローラーとケーシングは、パチンと音が鳴るまで連結させてください。最後まで入っていないと、使用中、外れる恐れがあります。
 ※上ローラーを取り外す際、素手で外れない場合は、プライヤー等工具を使用し取り外してください。
 ※建具の開閉は、勢いよくやりすぎると金物が破損する可能性があるので注意してください。

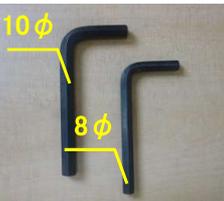
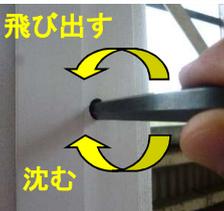
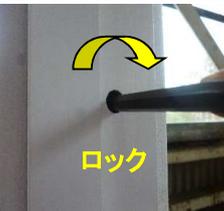
□ 3枚引違い戸(上吊+床付レール・連動タイプ)

forインセット枠
 施工手順書2013/6作成
 改訂2022/8

10-3 建具の吊り込み (キャッチ金物とジョイント金物の連結)

<p>① 中央の扉に取付けたジョイント金物を、連結させる扉に取付けたキャッチ金物へ横から差し込みます。 ジョイント金物がしっかり差し込まれた事を確認後、ドライバーや定規等で、キャッチのカバーを下ろします。</p>			
	<p>ジョイント金物を キャッチ金物へ横から差し込む</p>	<p>ドライバーや定規等で キャッチのカバーを下ろす</p>	<p>連動金物納まり</p>
<p>※扉を外す場合 キャッチ金物にジョイント金物を差し込んだ後、やむを得ず扉を外す場合は、ジョイント金物が差し込まれたキャッチ金物の隙間にマイナスドライバー等を差し込みツメ部から外し、扉ごと引き抜いてください。</p>	<p>※実際にはジョイント側にも扉があります</p> 		
	<p>ジョイント金物とキャッチ金物の隙間にマイナスドライバー等を差し込みツメ部から外し、扉ごと引き抜く</p>		
<p>注意 ※ジョイント金物をキャッチ金物に差し込み後、必ずキャッチ金物のカバーを下ろしてください。</p>			

11 MS金物の調整

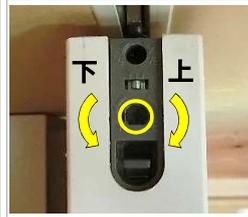
<p>① 枠内寸法を確認し、戸先側のインセット枠に内蔵してあるMS金物を、8φの六角レンチにてロックを解除します。</p>				
	<p>六角レンチ</p>	<p>ロック解除 (8φ)</p>		
<p>② 調整は10φの六角レンチで巾方向の調整を行います。(±2.0mm) その際、枠の出荷時の見付寸法はクロス後、23mmの設定ですので、21~25mmの範囲で調整してください。(25mm以上飛び出すと嵌合しなくなり、はずれる恐れがあります) 調整後は8φ六角レンチにて、必ずロックしてください。</p>				
	<p>左右の調整 (10φ) (±2mm)</p>	<p>引込めた状態 (見付21mm)</p>	<p>飛び出した状態 (見付25mm)</p>	<p>ロック (8φ)</p>
<p>注意 ※枠出荷時にはロックが掛かっていますので、必ずロックを解除して調整を行ってください。また、解除時に45°以上は回さないでください。(ロックを解除しないで調整を行うと、MS金物が破損する恐れがあります)</p>				

□ 3枚引違い戸(上吊+床付レール・連動タイプ)

forインセット枠
 施工手順書2013/6作成
 改訂2022/8

12 上ローラーの調整

- ① 吊り込み後に上ローラーにて調整を行う際は、上下調整は下側のネジ、左右調整は上側のネジにて、手動ドライバーで行ってください。



【調整範囲】
 上方向3.0mm
 下方向4.0mm
 左右方向±2.0mm

上ローラー
 上下の調整

上ローラー
 左右の調整

注意

※調整の際に、電動ドライバーは使用しないでください。
 ※戸先側と戸尻側の木口で調整方法が反転しますので、ご注意ください。

13 化粧キャップとビスキャップの取付け・跳ね上がり防止ナットの固定

- ① 全ての調整を終えたら、化粧キャップを取付けてください。外す場合は、化粧キャップの溝にマイナスドライバー等を差し込み外してください。同梱のビスキャップをインセット枠の穴にはめ込みます。すべての穴に取り付けてください。

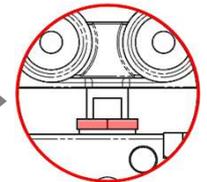
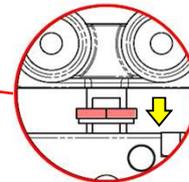
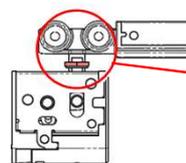
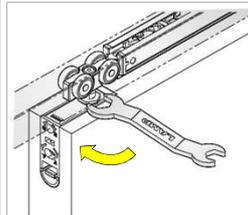


化粧キャップを取付ける

※化粧キャップを外す場合
 化粧キャップの溝に
 マイナスドライバー等を
 差し込み外す

ビスキャップの取付け

- ② 両側のローラー吊軸の跳ね上がり防止ナットを、本体に接触するまでスパナで締めてください。



両側のローラー吊軸の跳ね上がり防止ナットを、本体に接触するまでスパナで締める

注意

※跳ね上がり防止ナット必ず締めてください。締め忘れは、故障・破損の原因になります。
 ※跳ね上がり防止ナットは締めすぎないでください。締めすぎると扉が下がり調整がずれます。